

3 生涯にわたって学び続ける「ふじの人」の育成

(1) 社会教育

市民一人一人の生きがいがづくりや現代的・地域的課題への対応を目指し、まちづくりセンター講座や市民大学等の多様な学習の機会を提供するとともに、市民の自主的な学びを支援するために、市政いきいき講座等を行っている。

① 社会教育委員会議

社会教育法に基づいて社会教育委員を設置し、教育委員会の諮問機関として、社会教育の推進に関する諸計画等を審議している。学識経験者、学校教育、家庭教育の関係者で構成されている。

令和6年度の内容等

	開催日時・会場	審議・報告事項
第1回	令和6年6月5日（水曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・今期社会教育委員会議について ・富士市の社会教育行政について ・社会教育課所管事業について ・令和6年度各種研修会について
第2回	令和6年8月28日（水曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後子ども教室×少年教育講座について ・地域学校協働活動に係る取組について ・富士市・雫石町少年交流事業及び無限∞のキズナ事業について ・後期まちづくりセンター講座・青年教養講座について ・事業視察及び研修について（富士市民大学後期講演会等）
第3回	令和7年1月24日（金曜日） 午後1時30分～ 教育プラザ1階 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度 社会教育課主要事業の計画の概要について ・地域学校協働活動の取組等について ・令和7年富士市はたちの記念式典の実施報告について ・令和6年度家庭教育支援交流会の参加について ・委員継続任期等について

② 富士市民大学

豊かな人づくりを目指し、より高度で専門的な知識を学ぶため、市民大学を開催している。前期ミニカレッジは、大学教授等と連携を行い、全6講座を開講。後期講演会は、各界の著名人を講師に招き、ロゼシアター大ホールを会場に全6回の講演会を開催した。



富士市民大学前期ミニカレッジ



富士市民大学後期講演会

ア 令和6年度（第30回）富士市民大学前期ミニカレッジ講座内容

科 目	講 師 名	受講生 (人)	会 場
観光の今～地域活性化・情報活用・まちづくり～	静岡県立大学 経営情報学部 教授 大久保 あかね 静岡県立大学 経営情報学部 教授 渡邊 貴之 静岡県立大学 経営情報学部 教授 内海 佐和子	16	富士市教育プラザ
表現力アップ！ 読み聞かせ・話し方講座	フリーアナウンサー・新郎読家 杉山 直	25	富士市教育プラザ
環境について「今」私たちが知るべきこと	静岡大学 グローバル共創科学部 教授 板倉 美奈子 静岡大学 地域創造学環 教授（学環長）水谷 洋一 静岡大学 教育学部 准教授 郡司 賀透 静岡大学 理学部 教授 木村 浩之	19	富士市教育プラザ コアレックス信栄 大昭和加工紙業
市民歴史講座 「紫式部が生きた時代の文学と社会」	国文学研究資料館 准教授 中西 智子 静岡県立大学 国際関係学部 准教授 竹部 歩美 神奈川大学 日本常民文化研究所 特別研究員 繁田 信一 静岡県富士山世界遺産センター 学芸課 教授 大高 康正 静岡大学 人文社会科学部 准教授 貴田 潔	80	富士市教育プラザ
健康講座「カラダのDIY ～健康的なカラダ作りを目指して～」	常葉大学 健康プロデュース学部 健康鍼灸学科 准教授 藤田 格 常葉大学 健康プロデュース学部 健康栄養学科 教授 野末 みほ 元 常葉大学 健康科学部 静岡理学療法学科 教授 青田 安史 常葉大学 健康プロデュース学部 健康柔道整復学科 准教授 安井 正佐也	60	富士市教育プラザ
色が魅せる 音が創り出す 思いが伝わる ～デザインが持つ効果と工夫～	静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 小川 直茂 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 百束 朋浩 静岡文化芸術大学 デザイン学部 教授 小浜 朋子 静岡文化芸術大学 デザイン学部 准教授 荒川 朋子 静岡文化芸術大学 デザイン学部 特任教授 佐井 国夫	34	富士市教育プラザ
合 計 人 数	234 人		

※各講師の肩書は開催年度当初のものです。

イ 令和6年度（第44回）富士市民大学後期講演会講演内容

回	開 催 日	テ ー マ	講 師 名	会 場
1	9月20日（金）	天気の人 天達がみる地球の今	気象予報士 天達 武史	ロゼシアター 大ホール
2	9月26日（木）	誰でも簡単にぐっすり眠れるようになる方法	医学博士／睡眠学研究者 白濱 龍太郎	〃
3	10月3日（木）	混迷の時代を生きる ～私の取材ノートから～	ジャーナリスト 江川 紹子	〃
4	10月10日（木）	人生110年時代を実現する裏切らない体づくり	順天堂大学教授 谷本 道哉	〃
5	10月17日（木）	錆びない生き方 ～歳をかさねる人間の品格～	昭和女子大学 総長 坂東 眞理子	〃
6	10月24日（木）	生きる力を育てる学力	明治大学教授 齋藤 孝	〃

後期講演会のあゆみ（第 32 回以降の募集定員・受講生数・講座回数及び受講料の推移）

回数	年度	募集定員	受講生数	講座回数	受講料	会場
第 32 回	平成 24 年度	700 人	690 人	7 回	4,000 円	ロゼシアター 中ホール
プレ講演会	平成 25 年度	700 人	507 人	1 回	無料	〃
第 33 回	平成 25 年度	700 人	617 人	7 回	4,000 円	〃
	単発券		38 人		1,500 円	
第 34 回	平成 26 年度	700 人	698 人	7 回	4,000 円	〃
第 35 回	平成 27 年度	700 人	703 人	6 回	3,500 円	〃
第 36 回	平成 28 年度	700 人	525 人	6 回	3,500 円	〃
	単発券		76 人		1,500 円	
第 37 回	平成 29 年度	700 人	491 人	6 回	3,500 円	〃
	単発券		46 人		1,500 円	
第 38 回	平成 30 年度	700 人	647 人	6 回	3,500 円	〃
第 39 回	令和元年度	700 人	725 人	6 回	3,500 円	〃
第 40 回	令和 2 年度	500 人	498 人	2 回	1,500 円	ロゼシアター 大ホール
第 41 回	令和 3 年度	700 人	606 人	6 回	3,500 円	〃
第 42 回	令和 4 年度	700 人	879 人	5 回	3,000 円	〃
第 43 回	令和 5 年度	800 人	760 人	6 回	3,500 円	〃
第 44 回	令和 6 年度	800 人	1,017 人	6 回	4,000 円	〃

③ 市政いきいき講座

市民と職員との対話を通じて、市民の市政への理解を深めることを目的に、職員が市民、団体等の求めに応じ、指定された会場（市内に限る）へ出向き、市民（10人以上）に日常業務の説明や情報提供を行っている。

令和 6 年度 開催実績 件数 347 件 参加者総数 12,185 人

ジャンル	件数	人数	ジャンル	件数	人数
市政	2	34	教育文化	14	373
健康・福祉	9	207	生活安全	281	10,390
市民生活	33	834	環境	2	61
まちづくり	6	286	計	347	12,185

④ まちづくりセンター講座

各地区まちづくりセンターを会場に、新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深める身近な場を提供することを目的として、乳幼児から高齢者まで幅広い世代の方々を対象にさまざまな分野の講座を開催している。

なお、まちづくりセンター講座については、地区まちづくりセンターにおいて補助執行で実施していたが、令和3年度から教育委員会社会教育課に所管を変更して、以下のような講座区分ごとに実施している。(令和6年度開催実績：334講座、延受講者数19,313人)

ア 人づくり講座

地域の資源や魅力を知る学習や地域の人材を活用した学習、地域活性化に資する学習等を目的として実施。地域の活動に主体的に取り組む人材の育成を図ることをねらいとしている。(令和6年度開催実績：講座数52講座、延受講者数3,251人)



人づくり講座

元吉原「縁起物3点セットで幸福な1年に」



少年教育講座

「ブロック合同デイキャンプ」

イ 少年教育講座

主に小学生を対象に、社会生活に必要な能力を養うことや他の年齢層とのつながりを持つこと、また学校ではできない体験学習等を通じて、地域への愛着を養い、将来富士市を背負っていく世代の育成を目的として実施している。活動内容は、食育料理教室、自然遊びや野外活動、環境学習、ブロック合同キャンプ事業などがある。(令和6年度開催実績：講座数29講座、延受講者数2,073人)

ウ 家庭教育講座

主に未就園児と保護者を対象に、育児や子どもの健康に関する学習をするとともに、保護者同士が交流を深めることなどを目的としている。主に、子どもとの接し方、自立心、生活習慣等、子どもの教育や健康、性格形成期の問題などを学習する。(令和6年度開催実績：講座数14講座、延受講者数1,221人)

エ 高齢者講座

高齢者を対象に、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりや社会参加の促進などを目的に開催。主な活動内容は、各種教養講座や健康づくりのための体操等の運動講座、工作など、多様な内容を実施している。(令和6年度開催実績：講座数26講座、延受講者数1,781人)

オ みんな講座

市内で活動している民間団体が企画・運営を行う、初心者でも気軽に参加できる講座。主に新しい趣味の発見や仲間づくり、教養を深めること等を目的に実施している。地域に根付いた魅力的な講座を目指し、民間団体が得意とする分野の講座を実施している。(令和6年度開催実績：講座数96講座、延受講者数6,325人)

カ 市民プロデュース講座

市内で活動している団体や市民が企画・運営する講座として実施しており、市民主体の地域づくりや地域の担い手づくりを推進することを目指している。(令和6年度開催実績：講座数28講座、延受講者数1,671人)

キ オープン自主グループ講座

同じ趣味や興味・関心を持つ仲間が集まり、まちづくりセンターで活動している自主グループが開催する初心者向け体験講座(令和6年度開催実績：講座数63講座、延受講者数1,553人)

ク 生涯学習人材バンク講座

生涯学習人材バンクの登録講師が企画・運営する講座。初めての方にもわかりやすい初心者向けの内容を中心に実施する。(令和6年度開催実績：講座数26講座、延受講者数1,438人)



家庭教育講座
伝法「かんがるークラブ」



高齢者講座
岩松北「うめ教養大学」

⑤ 子育て講演会

小中学校へ入学する子どもを持つ親を対象に、子どもの心理や最近の動向、しつけや問題行動への対処方法などについて学習することで、家庭教育や子育てのあり方を見直す機会を提供する。

小学校 対象者 1,731人 開催校数 26校

中学校 対象者 2,100人 開催校数 15校

⑥ 家庭教育支援交流会

家庭教育支援に携わる人材同士の交流を目的として、令和4年度から開催している。基調講演やグループワーク等を行い、家庭教育支援について理解を深めていただく機会にもなっている。

開催日：令和6年7月30日(火)、令和7年2月8日(土)

参加者：富士市において家庭教育支援に関わる活動を行っている方、又は関心がある方

(2) 図書館

① 施設設備の概要

ア 富士市立図書館一覧

図書館名	開館	敷地面積 (㎡)	延床面積 (㎡)	構 造	施設の概要	
中央図書館	本館	S39. 2. 11 (H7. 10. 4移転)	5, 279. 47	7, 526. 47	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 地上4階地下1階	全ての資料が1階ワンフロアで利用でき、障害者、高齢者等に配慮した施設
	分館	H12. 8. 10	1, 865. 08	2, 904. 67	鉄骨造2階	学習室と作品を展示できる市民ギャラリー等のある施設
	今泉分室	H12. 4. 16	今泉まちづくりセンター敷地内	359. 83	鉄筋コンクリート造3階	今泉まちづくりセンター分館の図書施設で、児童をはじめ地域の人たちに親しまれている
	田子浦分室	H15. 4. 12	田子浦まちづくりセンター敷地内	191. 80	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	田子浦まちづくりセンターに併設の図書施設で、乳幼児や児童に親しまれている
	大淵分室	H20. 4. 20	大淵まちづくりセンター敷地内	220. 50	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	大淵まちづくりセンターに併設の図書施設で、児童や生徒に親しまれている
	富士川分室	H20. 11. 5	富士川ふれあいホール敷地内	229. 99	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士川ふれあいホールに併設の図書施設で、郷土の特色を活かし、地域の人たちに親しまれている
西図書館	S55. 11. 25 (H20. 4. 4移転)	富士市交流プラザ敷地内	1, 259. 02	鉄筋コンクリート造3階 (図書館部分は、1階)	富士市交流プラザに併設の図書施設で、地域の人や通勤、通学の人たちに親しまれている	
東図書館	S62. 4. 1	吉永まちづくりセンター敷地内	321. 73	鉄筋コンクリート造2階 (図書館部分は、1階)	吉永まちづくりセンターに併設された図書施設で、児童をはじめ地域の人たちに親しまれている	
富士文庫	H 2. 4. 18	鷹岡市民プラザ敷地内	823. 05	鉄筋コンクリート造2階	旧私立「富士文庫」の蔵書を引き継ぎ、貴重な資料を多く所蔵している	

イ 移動図書館 (BM : Book Mobile)

開設 昭和43年5月1日
 更新 令和5年2月1日 スズキキャリィ(ガソリン車)2台に更新し使用開始
 巡回方法 約500冊を搭載し市内66か所を巡回
 施設配本 まちづくりセンター等18か所、高齢者施設6か所に配本

ウ でごいち文庫

開設 昭和53年4月17日
 施設 入山瀬公園内のD51機関車に隣接している客車を改造した施設

② 主な出来事と取組

中央図書館(4分室を含む)と地域館3館の1年間の入館者数は821,948人、資料の貸出者数は399,014人、また、貸出点数は1,623,245点(電子書籍を含む)である。

第三次富士市子ども読書活動推進計画に基づき、「ブックスタートふじ」事業では6か月児を対象に読み聞かせや絵本の配付を行い、1,281人に配付し、配付率は98.7%であった。併せて対象児の利用者カードの新規申込を受付け、141人に発行した。「セカンドブックふじ」事業では、3歳児を対象に大型絵本の読み聞かせと絵本の配付を行い1,677人に配付し、配付率は97.0%であった。

令和6年度から開始した「プレママ・プレパパ読み聞かせ講座」は、富士市フィランセで行われる「お母さんお父さん教室」で図書館職員が絵本の読み聞かせについて説明し、保護者に絵本1冊を配付するもので、351組が参加した。また、中央図書館で「託児サービス」を実施し215人が利用した。

③ 富士市子ども読書活動推進計画について

本市では、平成18年に「富士市子ども読書活動推進計画」、平成23年度に「第二次子ども読書活動推進計画」、令和3年度には「第三次富士市子ども読書活動推進計画」を策定した。この第三

次計画は、第一次、第二次での成果や課題を検証し、さらなる推進に向けた取組を進めるためのもので、令和4年度から実施し、令和6年度も引き続き子どもの読書活動推進に取り組んだ。

ア 計画の基本方針

本計画の基本方針を次に挙げ、全市的な読書計画を進めていく。

○「読書環境の整備」

子どもの発達段階や興味に応じた適切な本が、生活や学習の場でいつでも利用できる読書環境を整備する。

○「読書機会の提供」

子どもが楽しく読書できるように、関係機関等と連携して個々の場に応じた読書活動を実施し、読書習慣の確立を図る。

○「普及・啓発」

子どもの読書活動に関する理解や関心を高めるため、子どもや子どもに関わる全ての大人に対し広報活動に努める。また、子どもと本を結びつける大人の活動を支援する。

イ 具体的な施策について

○家庭・地域における読書活動

ブックスタートふじ事業、セカンドブックふじ事業を取組の柱として、乳幼児期からの読書習慣の形成を図る。また、地区まちづくりセンターにおけるボランティアによるおはなし会のほか、児童施設や図書館が連携して読書活動を行う。

○幼稚園・保育園・認定こども園における読書活動

幼稚園・保育園・認定こども園の蔵書を充実し、各園における読み聞かせ活動を推進する。園児のいる家庭での読書機会を増やすための啓発活動を行う。読書推進に関する職員研修に取り組む。

○学校における読書活動

児童生徒の読書習慣の形成を図るため、学校司書の全校配置を継続し、学校図書館を計画的に活用する。GIGA タブレットを活用した読書のため、「ふじ電子図書館」の利用を促進する等、従来の書籍に加え ICT を活用した読書活動を推進する。中高生の読書推進のため、学校と協力したイベント等を開催するなど、学校と図書館が連携した取組を行う。

○図書館における読書活動

乳幼児期から図書館の利用を促進するため、土日や夏休みは静かにしなくてもいい日として「賑わい図書館デー」を設定し、また「託児サービス」を継続するなど、親子が利用しやすい環境の整備を行い、子どもの読書活動を促進する。令和4年度に導入した電子図書館システムでも、引き続き電子書籍の利点を活かしたサービスにより子どもの読書推進を図る。読み聞かせボランティアに対し技術向上のための研修を実施し、活動を支援する。

④ 資料所蔵の状況

令和7年3月31日現在

区分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合計
図書 (うち児童書)	770,290 冊 (228,155)	129,181 冊 (44,945)	67,910 冊 (27,427)	119,154 冊 (38,444)	1,086,535 冊 (338,971)
AV資料	32,139 点	—	—	—	32,139 点
複製絵画	345 点	—	—	—	345 点
デジタル化資料	3,166 点	—	—	—	3,166 点
電子書籍	14,237 点	—	—	—	14,237 点
購入新聞	19 種	9 種	7 種	8 種	20 種
購入雑誌	193 種	52 種	58 種	54 種	235 種

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫を含む。購入雑誌は令和6年6月1日現在。

⑤ 利用状況

令和6年度

区分	中央図書館	西図書館	東図書館	富士文庫	合計
貸出点数	1,092,375点	289,208点	107,966点	133,696点	1,623,245点
貸出人数	261,941人	76,983人	26,747人	33,343人	399,014人
レファレンス件数	19,069件	4,693件	2,716件	4,781件	31,259件
予約件数	135,727件	6,714件	2,494件	4,278件	149,213件

※中央図書館には、移動図書館、今泉、田子浦、大淵、富士川の各分室、でごいち文庫、まちづくりセンターを含む。

※中央図書館の貸出点数、貸出人数には、電子書籍を含む。

⑥ 事業実績

令和6年度

館名	事業の名称	回数	延参加者	講師・共催団体等（敬称略）
中央図書館	ブックスタートふじ	36	1,281	6か月児を対象とした絵本の配付
	セカンドブックふじ	42	1,677	3歳児を対象とした絵本の配付
	プレママ・プレパパ読み聞かせ講座	12	355	講師：図書館職員
	おはなし会	95	1,115	実演：図書館職員
	おたのしみ会	12	245	実演：ボランティア
	本はともだち子どもまつり	1	292	実演：ボランティア
	図書館まつり	1	480	実演：図書館職員、ボランティア他
	ビブリオバトル	1	68	協力：富士市立高校
	一般文学講演「俳句と私とAIと」	1	71	講師：岸本 葉子
	ビジネス講演会 「アップデートしましょう！令和のビジネスマナー・褒め方講座」	1	23	講師：立花 美生
	生の語りできく 遠野の昔話の会	1	78	講師：大平 悦子
	夏休み読書感想文書き方講座	2	52	講師：佐藤 いずみ
	親子で体験！はじめてのデータベース講座	1	12	講師：樋口 貴子
	夏休み小学生図書館体験講座	2	9	講師：図書館職員
	古文書入門講座	3	75	講師：図書館職員
	ブックスタートボランティア研修	1	9	講師：図書館職員
	音訳ボランティア特別講座	1	14	講師：熊谷 成子
	音訳ボランティア勉強会	3	41	講師：芝本 安由美
	点訳ボランティア勉強会	1	19	講師：黒崎 よし乃
	読みきかせボランティア・フォローアップ教室	3	25	講師：平山 壽子
読みきかせボランティア講座	1	59	講師：尾野 三千代	
読みきかせ勉強会	9	336	講師：平山 壽子	
わらべうた・手遊び講習会	2	37	講師：畔高 京子	
西図書館	おはなし会	44	1,128	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	28	講師：佐藤 いずみ
	夏休み小学生図書館体験講座	1	4	講師：図書館職員
	わらべうたを楽しもう	1	22	講師：畔高 京子
	講演会「静岡県の仏像に会う」	1	55	講師：田島 整

東 図 書 館	おはなし会	48	347	実演：図書館職員
	夏休み親子講座「アクリル製定規を染めてみよう！」	2	12	講師：遠藤 礼朗
	夏休み小学生図書館体験講座	1	5	講師：図書館職員
富 士 文 庫	おはなし会	57	508	実演：図書館職員
	夏休み読書感想文書き方講座	1	16	講師：佐藤 いずみ
	わらべうたを楽しもう	1	15	講師：畔高 京子
	夏休み小学生図書館体験講座	1	5	講師：図書館職員
	影絵と音楽の世界	1	65	講師：和久田 恵子
	富士文庫特別コレクションを知る講座	3	55	講師：菊地 治彦

(3) 少年教育

子どもたち自身が社会の変化に柔軟に対応できる「生きる力」を育むため、関係機関が連携して、青少年の健全育成に取り組む社会の形成を推進するとともに、次代を担うジュニアリーダー養成事業の開催や、さまざまな体験・交流の場を提供している。

① 富士市青少年問題協議会

青少年問題協議会は、地方青少年問題協議会法の規定に基づいて、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を協議する場として設置されていたが、時代の変化に伴い、より多様化、複雑化する課題に対応するため、「青少年問題協議会」の役割を、「富士市子ども・若者支援協議会」に集約することとし、令和6年度で解散となった。

令和6年度は、青少年相談センター事業について、第二次富士市子ども・若者育成支援計画についてと、講演会「発達障害の理解と対応 ～地域医療の現場から～」及び意見交換を行った。

期 日：令和7年2月5日(水)

② 富士市・雫石町少年交流事業

平成16年度から、富士市と雫石町の小学生が隔年で交互に訪問しあい、施設見学や体験学習などを通して友情を深めることを目的として実施している。

令和6年度は富士市児童30人が雫石町を訪問した。

期 日：令和6年7月29日(月)～8月1日(木)

参加者：富士市の小学5・6年生30人、

内 容：羽田空港見学、森のしずく公園献花拝礼、
アーチェリー体験、小岩井農場体験等



森のしずく公園献花拝礼

③ 青少年体験交流事業「無限∞のキズナ」

平成26年度から宮城県気仙沼市大島で実施してきた「キズナ無限∞の島」に代わって、令和5年度から、「無限∞のキズナ～まだ見ぬ自分に出会う瞬間(とき)～」として、長野県伊那市、茅野市等で研修を実施している。

この事業は、長野県の大自然を舞台に、グループ活動を主とした集団生活を送りながら、チームビルディング(仲間づくり)を行うとともに、仲間と困難を一緒に乗り越える体験を通して“キズナ”を深め、コミュニケーション力や課題解決力を身につけ、自己肯定感を高めることで前向きに生きる青少年を育成することを目的としている。



期 日：令和6年8月11日（日）～14日（水）

参加者：中学生69人、高校生9人、青年9人、実行委員10人

内 容：・ 地域プログラム（白樺湖でカヌー体験、伊那市地域おこし協力隊との交流、郷土料理を通じた地域交流）
・ 体験プログラム（入笠山ハイキング）
・ キズナ学習（「仲間」をテーマに学校や学年、年齢層も異なる班内でグループ討議をしながら、「人と人のキズナ」の大切さを学び、最高の仲間とは何かについて研修生自らの答えを探し出す）



地域おこし協力隊との交流



入笠山ハイキング

④ ジュニアリーダー養成事業

子どもたち自身の手によって子ども会活動ができるように、活動の担い手となる中学生、高校生の指導者「ジュニアリーダー」を養成し、子ども会活動の発展を図るものである。

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【基礎編】

期 日：令和6年5月19日（日）

参加者：68人

内 容：子ども会に関すること（意義・目的・組織）
ジュニアリーダーに関すること（役割・心構え・態度）

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【安全編】

期 日：令和6年6月23日（日）

参加者：59人

内 容：活動を行う上でのKYT（危険予知トレーニング）

〔夏のジュニアリーダー養成講習会〕

期 日：令和6年8月10日（土）～
令和6年8月12日（月）

参加者：30人

内 容：野外活動、野外炊事、ゲーム等の手法の学習

〔インリーダー養成講習会〕

期 日：令和6年11月16日（土）～
令和6年11月17日（日）

参加者：26人

内 容：ジュニアリーダーに関すること（役割・心構え・態度）

〔ジュニアリーダー養成研修会〕【総合編】

期 日：令和7年3月16日(日)

参加者：27人

内 容：アイスブレイク等の手法や活動の計画と進行方法の学習

〔春のジュニアリーダー養成講習会〕

期 日：令和7年3月22日(土)～

令和7年3月23日(日)

参加者：45人

内 容：野外活動、野外炊事、キャンドルファイヤー等

⑤ 青少年活動助成事業

次代を担う青少年の健全育成を目的として、青少年や各種団体の活動を支援するため、青少年の健全育成に取り組んでいる団体に対して、助成を行った。

(4) 青年教育

青年が自らを磨き、社会的資質の向上を図る機会を提供するため、勤労青年に対する学習支援や、青少年指導者の養成講座を開催している。

① はたちの記念式典（旧称：成人式）ほか関連事業

はたちの記念式典

関係機関・団体の協力を得て、20歳を迎える方々の大人としての責任を改めて促すとともに、地元愛の醸成を推進するため実施した。令和6年同様、会場にて中学校ごと2つに分けた2部形式で式典を行った。

日 時：令和7年1月12日（日）第1部12：30～13：20、第2部14：30～15：20

場 所：富士市文化会館（ロゼシアター）大ホール

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、応援品贈呈、はたち応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のスライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

参加者：1,830人（参加率72.4%：該当者2,526人）



もうひとつのはたちの記念式典

日 時：令和7年1月19日（日）11：00～11：20

場 所：富士市教育プラザ

内 容：励ましの言葉、お祝いの言葉、応援品贈呈、応援プログラム（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、富士特別支援学校等恩師メッセージ

参加者：15人

令和7年富士市はたちの記念式典の映像配信

掲載日：令和7年1月22日（水）～28日（火）

掲 載：富士市ウェブサイトはたちの記念式典ページ内からのリンクによる富士市公式YouTubeアカウントに掲載

内 容：オープニング（富士高校書道部パフォーマンス（映像））、励ましの言葉、お祝いの言葉、応援品贈呈、応援プログラム（はたちの記念式典実行委員会企画のスライド上映、恩師メッセージ）、市立高校チアリーダー部パフォーマンス

視聴数：1,457回

18歳新成人への祝意メッセージ送付事業

令和4年4月1日から、民法の改正により成年年齢が18歳に引き下げられたため、18歳の門出の時期に、成人を迎えられたことを祝い、新成人としての自覚を促し、今まで育ってきた環境を改めて見つめ直す機会を提供するため、あたたかみのある祝意メッセージを送付した。

対象者：2,357人

時 期：令和7年3月上旬発送

内 容：市長メッセージカード

新成人応援動画（二次元コード）

ほうじ茶一煎パック



② 青少年育成ボランティア養成講座 (Play & Lead)

市の青少年健全育成事業等にリーダーとして参画できる人材や、積極的に地域へ参画することができる人材を育成することを目的に実施している。また、青少年活動をしている地域団体のプログラムに参加し、様々な魅力的な人に出会い、つながることができる機会を提供する。静岡県が実施している級別青少年指導者認定事業の上級位認定を支援する。

期 日：令和6年9月～令和7年2月

参加者：2人（高校生1人、大学生1人）

場 所：富士市教育プラザ

内 容：講座7回（ふじかわっこ！遊び塾への参加、
遊びフェスタの企画、
「遊びフェスタ in 富士川・松野地区」の実施）



養成講座受講生

◎「遊びフェスタ in 富士川・松野地区」

受講生が自分たちで企画や準備をし、実際に事業を実施する中で、子どもたちとの触れ合い方や、リーダーのあり方を実践形式で学ぶことを目的に実施した。

実施日：令和7年2月2日(日)

場 所：富士川第一小学校体育館

参加者：旧富士川地区の小学生 16人

内 容：人間知恵の輪、ボールリレーなど



「遊びフェスタ in 富士川・松野地区」の様子

(5) 青少年教育センター

青少年教育センターは、青少年を対象に文化や教養と社会性を身につけるための教養講座を開設したり、サークル活動など青年の集う場を提供したりすることを目的としている。また、青少年団体の活動拠点にもなっている。

① 青年教養講座の開設

市内に在住、又は在勤(在学)の青年を対象に、余暇を利用して仲間づくりや豊かな教養と社会性を身につけるために開設している。

青年講座 新NISA&iDeCo、パークゴルフ、韓国語 他 34 講座 受講生 287 人



初めてでもきれい!
ミシンの基本



目覚めの巡りヨガ



みんなでハイキング

② サークル活動

青年のニーズの多様化と意識の変化に対応できるように、サークル活動を積極的に推進している。

	サークル名	活動内容	人数
1	BTM	バトミントン	13 人
2	SUN	3 on 3	7 人
3	あすなる	硬筆	9 人
4	グループ青春	軽音	5 人
5	ギターを続けよう	ギター	5 人
6	Make a bread	パンづくり	5 人
7	すばいくる☆	ソフトバレー	18 人
8	コンパニエロ	フットボール	11 人
9	気まぐれ美術部	絵画	6 人

③ 青少年教育センター利用者会

本センターの青年教養講座、サークル活動をしている青年が、利用者会を組織して交流会や体験学習等の活動を通し、相互の親睦と活動の一層の推進を図っている。また、市民のニーズに対応した社会貢献活動も幅広く行っている。

※青少年教育センター利用者会 会員数 157 人



避難訓練 (消火活動)



令和 6 年度利用者会総会



利用者会前期交流会

(令和6年度)

	事業	日時	場所
1	避難訓練(火災)	5月16日	教育プラザ1階
2	避難訓練(地震、津波)	11月25日	教育プラザ1階、屋上
3	青少年教育センター利用者会総会	5月29日	教育プラザ1階
4	青少年教育センター利用者会役員会	随時	〃
5	ボランティア(清掃活動)、交流会(BBQ)	7月27日	かぐや姫工房
6	交流会(バス旅行)	12月21日	御殿場高原 時之栖
7	はたちの記念式典スタッフボランティア	1月12日	ロゼシアター

④ 青少年教育センター利用状況(令和6年度)

区分	計(人)	計(回数)
青年教養講座	993	135
青年サークル	935	187
青少年教育センター利用者会	113	8
社会教育課	2,341	127
青少年相談センター	3,270	309
富士市教育委員会	3,156	80
市役所関係	6,095	238
社会教育団体	2,310	124
その他	4,572	283
合計	23,785	1,491

(6) 青少年相談センター

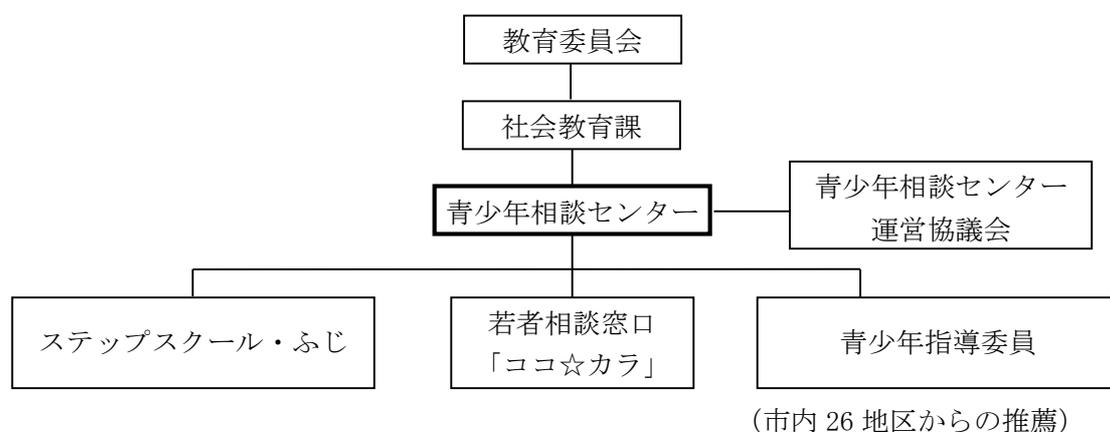
青少年相談センターは、次代を担う青少年の健やかな成長を支援するために、青少年ならびに保護者等を対象とした相談業務、不登校児童生徒を対象とした「ステップスクール・ふじ」、非行の未然防止を図る補導活動、青少年を取り巻く環境の浄化活動、そのほか関係機関・関係諸団体との連携の中で行う非行および不登校対策や、地域ぐるみで取り組む青少年健全育成活動等を推進し、青少年支援のセンターとしての役割を担っている。また、ニートやひきこもり、不登校など社会生活を営む上で困難を抱える若者やその家族を支援するため、若者相談窓口「ココ☆カラ」を開設している。

① 富士市青少年相談センターの組織・機構

設置主体 富士市（富士市教育委員会）

設置年月日 昭和 42 年 4 月 1 日

所在地 富士市八代町 1 番 1 号 TEL 52-4152 FAX 52-3737



② 富士市青少年相談センターの活動

ア 非行防止活動

青少年指導委員(114名)、青少年相談センター職員を中心に警察官、少年警察補導員、少年警察協助力員、まちづくり協議会青少年育成部門、民生児童委員、保護司、PTA役員等の協力を得て補導活動を実施している。

(7) 通常補導……地区内巡回補導、市街地補導

(4) 特別補導……祭典補導、県内一斉少年補導

イ 青少年健全育成活動

(7) 「富士市青少年の非行・被害防止強調月間」

- ・「社会を明るくする運動」と連携し、街頭啓発キャンペーンを実施
- ・広報、啓発活動
- ・健全育成諸行事、諸活動（講演会、パレード、啓発活動等）
- ・県内一斉少年補導、県内一斉立入調査、環境浄化活動等

(4) 「富士市子供・若者育成支援推進強調月間」

- ・地区生涯学習推進会等の団体主催による、地域における健全育成諸行事への協力

ウ 社会環境浄化活動

コンビニ、遊技場、玩具店、書店、マンガ喫茶、カラオケボックス等への立入調査をはじめ、青少年に有害な陳列物等の定期調査等を行っている。

エ 相談業務

青少年の健全な発達を支援するため、適切な助言や指導を行い、問題解決を図っている。相談には「面談」と「電話相談」があり、「面談」では、来所・通所・訪問相談を行っている。また、臨床心理士による面談を実施している（要予約）。「電話相談」は相談員が「ほっとテレフォン・ふじ」で相談に応じ、eメールでの相談も受け付けている。更に、不登校児童生徒を支援するため「ステップスクール・ふじ」を開設している。

(ア) 面談……青少年、保護者、学校教職員など。（来所・通所）

(イ) 電話相談……「ほっとテレフォン・ふじ」（青少年、保護者）

(ウ) 訪問相談……学校訪問、家庭訪問など

◇相談日と時間 面談 月曜～金曜 9時00分～16時00分

電話相談 月曜～金曜 9時30分～16時30分

(エ) 「ステップスクール・ふじ」

不登校の児童生徒に場所と時間を提供し、一人一人に応じた支援を進める中で、児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立していくことを目指していく。

個にあわせた学習支援、不安や悩みを取り除くための継続的な面談、仲間づくりや社会との関わりを学ぶ体験学習、青少年相談員による学校訪問等を実施している。

(オ) 「ほっとデジタル相談・ふじ」

小中学校全児童生徒が使用するタブレットを活用した相談を令和5年2月から実施している。

a 「ステップスクール・ふじ」開所日

☆毎週月曜日～金曜日の8時00分～18時00分までを基本としている。

☆子どもが自分のペースにあわせて利用できる。

（例えば午前中のみや、午後のみ、短時間のみ等の利用も可能）

☆土・日曜日・祝日は休み。長期休業中は、基本的に休み

☆給食はなし。昼食が必要な場合はお弁当を持参する。

b 「ステップスクール・ふじ」の特徴

☆一日の予定は、自分自身で決められる。

☆勉強がわからないところは相談員と一緒に考える。

☆悩みがある場合はその都度相談員が相談に乗る。

さわやかタイム	8:00～8:50	朝の活動
学 び 1	9:00～11:20	学びの時間
運 動 1	11:30～12:00	スポーツ活動
<昼食・昼休み>	12:00～13:00	昼食・休憩・自由時間
学 び 2	13:00～14:50	学びの時間
運 動 2	15:00～15:30	スポーツ活動
ふれあいタイム	15:30～18:00	交流活動

c 体験学習

☆自然の大切さや仲間づくり、他者とのかかわり方を学ぶために、1か月に1回程度、体験学習を行っている。（カレーづくり、ものづくり、スプリングコンサート、遠足等）

オ 子ども・若者育成支援事業

ニート・ひきこもり等の社会生活を営む上で困難を抱える子ども・若者について、関係機関と連携し、支援していく。

(ア) 子ども・若者支援協議会 代表者会議1回・担当者会議1回

青少年問題協議会の廃止に伴い、関係機関として富士市立高等学校、富士市社会教育委員、富士地区保護司会、富士市民生委員児童委員協議会が加わった。

(イ) 若者相談窓口「ココ☆カラ」

開所日時 火～土曜日 9時00分～17時00分

対 象 者 富士市在住・在学の、概ね中学校卒業時から39歳までの子ども・若者

事業内容
・相談、居場所、体験活動、就労支援
・若者サポーター養成講座
・茶話会（家族会） ・合同相談会

カ 広報活動

青少年問題への関心を高めるためのチラシや、子どものしつけや家族のあり方を啓発するリーフレット等の配布及び「青少年相談センターだより」を発行（年4回）している。

キ 研修活動

青少年相談センター職員、学校関係職員、青少年指導委員、相談員の資質の向上を図るため、下記の研修を行っている。また、市民を対象に講座を開設し、望ましい「人との関わり方」について学習できる機会を設けている。

- | | |
|--------------------|-----------------------------|
| (ア) 青少年指導委員全体研修会 | (イ) 電話相談機関連絡会研修会 |
| (ウ) 相談センター所員研修 | (エ) 不登校等児童生徒対策研修会 |
| (オ) 不登校等児童生徒の保護者教室 | (カ) 「ステップ・スクール・ふじ」の保護者・担任面談 |
| (キ) カウンセリング講座 | |

ク 関係機関・団体との対策会議

学校・警察・児童相談所・こども家庭課などと常に緊密な連携を保ちつつ、問題行動を起こした少年やその家庭への指導・援助に努めている。具体的には、市の青少年問題を考える青少年問題協議会をはじめ、非行防止の具体策を協議する学校警察連絡協議会、小学校生徒指導主任者会、中学校生徒指導研究会、青少年指導委員による補導措置会議への参加や、関係機関の共通理解を深めるための青少年対策関係機関連絡会、不登校児童生徒への対応を研究し対策を協議する不登校等児童生徒対策連絡会及び不登校等児童生徒対策研修会を開催している。

また、文部科学省・内閣府や静岡県の子青少年対策本部が打ち出す青少年対策の基本方針を確認しながら、県補導センター連絡協議会、東部補導センター連絡協議会、県電話相談機関連絡協議会等にも積極的に参加している。

③ 補足資料(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

○青少年指導委員

青少年指導委員は、26地区に推薦を依頼し、114名で補導活動を行っている。

〈通常補導〉 月2回の通常補導では、地区班は19時から21時頃の間に地区内を、女性班は土曜の日中にゲームセンター等を巡回し補導活動を実施

〈祭典補導〉 大がかりなイベント（祇園祭・富士まつり・甲子秋まつり・毘沙門天大祭）の際、会場及びその周辺を巡回し補導活動を実施

令和6年度も、新型コロナウイルス感染症の影響が残り、夜間の青少年の外出は少なかった。

総補導件数は55件（前年度の74件から19件減少）である。行為種別では「その他」の「帰宅」が最多で、駅やコンビニ、公園などで帰宅を促す声掛けがほとんどである。

※青少年指導委員会は令和6年3月で解散（青少年指導委員の補導活動は存続）

○青少年指導委員による補導活動

活 動 名	出勤回数	参加人数	補導件数	特記事項
通常補導（地区巡回）	275	993	51	
祭典補導（祇園祭、富士まつり、甲子秋まつり、毘沙門天大祭）	4	217	4	
補導措置会議	36	115	—	
合 計	315	1,325	55	

○県内一斉少年補導

参加人数 夏季 665人 冬季 587人

参加者

青少年相談センター職員、PTA役員、警察官・少年警察補導員・少年警察協働員・少年指導委員、教育委員会職員、民生児童委員・保護司、青少年指導委員、地区まちづくり協議会青少年育成部門、地区防犯協会役員、地域安全推進員 他

○補導状況

(単位：件)

		小学生	中学生	高校生	その他	有職少年 無職少年	合 計
飲	酒	0	0	0	0	0	0
喫	煙	0	0	0	0	0	0
深	夜 徘徊	0	0	0	0	0	0
不	良 交友	0	0	0	0	0	0
怠	学 ・ 怠 業	0	0	0	0	0	0
シンナー等薬物乱用		0	0	0	0	0	0
不健全 娯 楽	ゲームセンター入場	0	0	0	0	0	0
	パチンコ店入場	0	0	0	0	0	0
	その他の風俗営業入場	0	0	0	0	0	0
暴 走 行 為		0	0	0	0	0	0
自転車の2人乗り・無灯火		0	0	1	1	0	2
危 険 な 遊 び		0	5	2	0	0	7
そ の 他	帰 宅	1	18	10	3	1	33
	マ ナ ー	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	12	0	1	0	13
合 計		1	35	13	5	1	55

○来所相談及び利用・「ステップスクール・ふじ」

(単位：人)

相談対象者	人数	来 所 者	人数	相 談 内 容	人数
小 学 生	884	家 庭	526	学 校 生 活	0
中 学 生	2,597			対 人 関 係	1
高 校 生	59	学 校	207	進 路 ・ 適 性	0
有 職 少 年	2	利用・ステップ関係	2,850	不 登 校	3,528
無 職 少 年	0	諸 機 関	178	心 身 の 発 達	72
そ の 他	273	そ の 他	54	反社会的行動	0
				そ の 他	214
計	3,815	計	3,815	計	3,815

○「ステップスクール・ふじ」利用相談件数・利用人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用相談 件数(件)	32	13	9	9	8	10	15	7	4	11	10	0	128
利用人数 延べ(人)	143	254	258	198	59	285	293	326	251	303	322	158	2,850

○電話相談「ほっとテレフォン・ふじ」の受信状況

・受信件数 92件 ・業務日数 243日

【学校、その他・男女別受信状況】

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計	不明(無言)
男	0	1	7	2	0	0	2	0	1	3	16	66
女	0	0	2	0	0	0	6	1	1	0	10	
計	0	1	9	2	0	0	8	1	2	3	26	92

【学校、その他・内容別受信状況】

(単位：件)

	小学生	中学生	高校生	他の学生	有職	無職	保護者	祖父母	一般	層不明	計
A学校生活	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
B対人関係	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	3
C進路適性	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
D不登校	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4
E心身発達	0	0	6	1	0	0	2	0	0	1	10
F無言	0	0	0	1	0	0	0	0	0	65	66
Gその他	0	0	1	0	0	0	1	0	2	3	7
計	0	1	9	2	0	0	8	1	2	69	92

○メール相談 相談総数 年間0件

○若者相談窓口相談件数

【新規相談】(主訴による分類)

年齢区分	家庭				学校			医療・福祉			社会				その他	計
	親子関係	虐待・暴力	非行・犯罪	その他	いじめ	学業・進路	その他	発達障害	精神疾患	その他	生活支援	就労支援	対人関係	その他		
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小学生	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15～19	8	2	0	0	0	24	1	0	1	2	2	8	5	0	7	60
20～29	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	9	1	0	0	17
30～39	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	0	0	9
40～	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0	4
計	14	3	0	0	0	25	1	0	1	2	5	23	9	1	7	91

【新規相談】(状況による分類)

年齢区分	不登校	ひきこもり				その他	計	有職	無職	計
		自室内	家庭内	コンビニ等外出	趣味外出					
就学前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小学生	1	0	0	0	0	0	1	0	1	
中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15～19	13	0	0	8	0	39	60	4	56	
20～29	0	0	0	3	0	14	17	3	14	
30～39	0	0	0	4	0	5	9	3	6	
40～	0	0	0	1	0	3	4	1	3	
計	14	0	0	16	0	61	91	11	80	

【継続相談】 年間 899件

【合計相談件数】 年間 990件

【居場所利用人数】 年間 延べ2,731人

【アウトリーチ】 年間 61人に対して298回訪問

(7) 少年自然の家

少年たちが自然とのふれあいを通じて集団的な生活や活動をする中で、自然に対する心情や社会生活における基本的な態度を養うなど、その自発性、社会性を助長して、豊かな人間形成を図るための社会教育施設である。平成 28 年度から指定管理者制度を導入し、より一層の施設利用促進に努めていく。

① 教育目標

豊かな自然の中で学校や家庭では得がたい体験をさせることにより、次の目標の達成を図る。

- ・自然に直接ふれることにより、自然探求や野外活動に関心を持たせ、活動を通じて自然愛護の心を養うとともに、共生の心と健康の増進を図る。
- ・野外活動を通じて、自ら考え行動する態度を育てる。
- ・集団宿泊生活を通じて、規律を重んじる態度や奉仕の精神を養うとともに、助け合いの連帯意識を育てる。

② 施設の概要

所在地 富士市大淵 10847-1

T E L 0545-35-1697

F A X 0545-36-2799

ア 少年自然の家

昭和 49 年 10 月 1 日開設

建物面積 (2,697.16 ㎡)

鉄筋コンクリート造 3 階建

収容人員 250 名

・ 1 階

事務室 医務室 相談室 浴室 2 室

トイレ リネン室 宿直室 倉庫

ボイラー室等

・ 2・3 階

宿泊室 10 室 リーダー室 2 室 トイレ

リネン室

・ その他

丸火体育館 (鉄筋コンクリート造一部 2 階建
面積 916.4 ㎡)

食堂 研修室兼宿泊室 会議室 リーダー室
ボンベ室他



少年自然の家



丸火体育館



食堂

イ 丸火青少年の家

昭和 41 年 7 月 11 日開設

平成 21 年 4 月 18 日改築開所

建物面積 (264.55 ㎡)

木造平屋造

収容人員 60 名

(「ふじ」、「あしたか」の 2 部屋

各部屋定員 30 名、2 団体まで利用可能)

宿舍 炊飯棟 調理棟 トイレ 倉庫 広場



丸火青少年の家

③ 事業

丸火自然公園の豊かな自然環境と宿泊施設という特徴を生かし、青少年が自然体験学習を通して、社会性・協調性を養う機会を提供するものとして、指定管理者が事業を展開している。

平成 28 年度から利用団体の範囲の拡大を図り、学習活動のための施設利用を積極的に受け入れている。従前の利用団体（野外活動を目的とした、市内小学校 5 年生のみどりの学校をはじめとする市内外の幼稚園・小中学校、及び子ども会・ボーイスカウトなどの少年団体）の利用は、最優先に受け入れ、対応している。

利用に際しては、利用者には利用目的の明確化を求め、事前指導や協議の際には安全面への配慮に重点を置き、目的にあった活動展開ができるよう十分な支援を行う。

ア 継続事業

教育委員会より継承して指定管理者が令和 6 年度開催した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
ししどて学級 年間 5 回	6 月 8 日（土）～ 9 日（日）	保護者 説明会	各 96	「ししどて」は、丸火に残されている猪を追い込む堤で、鎌倉時代から伝えられている。この歴史ある地で、自然をベースに、仲間づくりや自然活動など様々なプログラムを通じて、自立心や他者への思いやりの心を育む。
	① 7 月 6 日（土）～ 7 日（日） ② 8 月 16 日（金）～ 18 日（日） ③ 10 月 12 日（土）～ 13 日（日） ④ 11 月 9 日（土）～ 10 日（日） ⑤ 12 月 7 日（土）～ 8 日（日）	市内小学校 4～6 年生		
星座教室	2 月 1 日（土）～ 2 日（日）	市内小学校 4～6 年生	50	丸火から見える天体を観察し、宇宙の不思議さや星座を学び、星や宇宙に関する興味関心を高める。
春の家族自然 のつどい	4 月 21 日（日）	市内在住・ 在勤の家族	50	自然観察、野草料理を通じて、自然愛護の心と家族の絆を育む。
秋の家族自然 のつどい	9 月 21 日（土） 10 月 19 日（土） 11 月 16 日（土）	市内在住・ 在勤の家族	各 16	秋の丸火の自然休養林を散策し、紅葉の鑑賞、クイズ等を実施し、森の自然を堪能する。
冬の家族自然 のつどい	1 月 26 日（日）	市内在住・ 在勤の家族	30	丸火自然公園で洞窟探検を含む謎解きラリーを実施し、冬の森を家族で楽しむ。



ししどて学級



星座教室



春のつどい

イ 自主事業

指定管理者が自主事業として令和6年度に実施した事業は下表のとおりである。

事業名	期 日	対 象	人数	ね ら い
利用団体指導者 研修会	4月16日（火）	小・中学校 の教諭等	34	少年自然の家の利用方法及び 活動プログラムと野外活動の 実技について研修する。
	6月16日（日）	少年団体等 の指導者	30	
オリエンテーリング を楽しもう	11月3日（日祝）	小学生以上	100	丸火自然公園で初心者から経 験者までコースにあわせてオ リエンテーリングを楽しむ。
丸火の森の音楽会	4月28日（日） 5月19日（日） 6月23日（日） 7月21日（日） 8月25日（日） 10月27日（日） 11月24日（日） 12月15日（日） 3月30日（日） 9月、1月、2月 は最少催行人数に 達成せず中止	制限なし	各 30	ゴスペルやアコースティック 楽器を使ったコンサートを行 う。
星座観察会	5月18日（土） 8月12日（月） 10月26日（土） 12月14日（土） 2月8日（土）	小学生以上	各 30 8、12 月は 50	施設屋上での星座観察を通じ て、親子で星と親しむ。 曇天・雨天でもスライド上映 等を行う。
燻製づくり	3月2日（日）	制限なし	30	森のチップで自家製燻製づく りを体験する。
スパイスからの本格 カレーづくり	2月23日（日）	親子	30	親子で外遊びを楽しみなが ら、野外料理等を通じて家族 の絆を深める。
ちびっこ森の探検隊	7月26日（金） 7月27日（土） 12月21日（土） 12月22日（日） ※12月23日（月） 3月28日（金） 3月29日（土） 3月30日（日） ※最少催行人数に 達成せず中止	年中・年長の 園児	各 28	丸火自然公園内で長期休み期 間中の平日、日帰りの預かり 保育を実施。参加者は作戦会 議後秘密基地づくりなど丸火 の自然を楽しむ。
ちびっこ森の探検隊 （小学生編）	9月15日（日） 1月12日（日）	小学校低学年	各 20	参加者と作戦会議を実施し、 秘密基地づくりなど丸火の自 然を楽しむ。

丸火でノルディックウォーキング	4月20日(土) 5月18日(土) 6月15日(土) 7月20日(土) 8月24日(土) 9月28日(土) 10月26日(土) 11月30日(土) 12月14日(土) 1月25日(土) 2月22日(土) 3月22日(土)	中学生以上	各 20	丸火自然公園周辺でノルディックウォーキング(2本のポールを使って歩く運動)と自然を楽しむ。
家族でみどりの学校体験	4月27日(土) 7月13日(土)	親子	24	「みどりの学校」を未経験の小学生と家族が体験する。



スパイスからの本格カレーづくり



ちびっこ森の探検隊



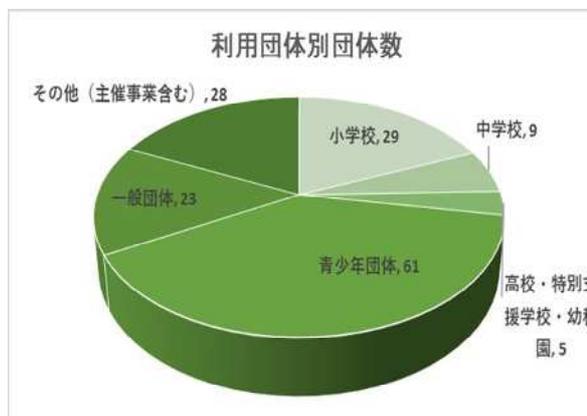
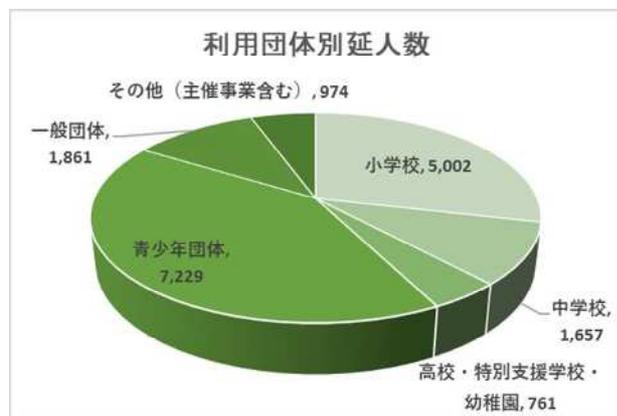
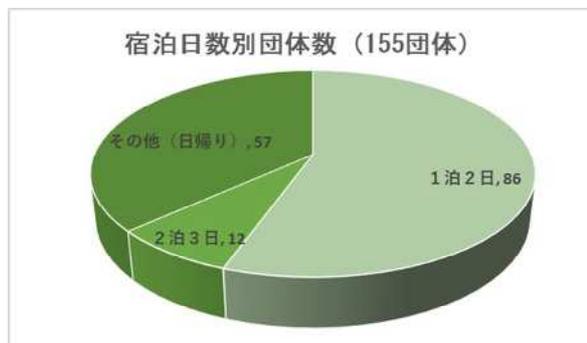
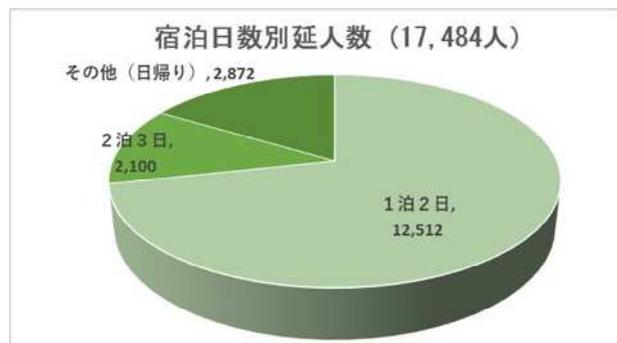
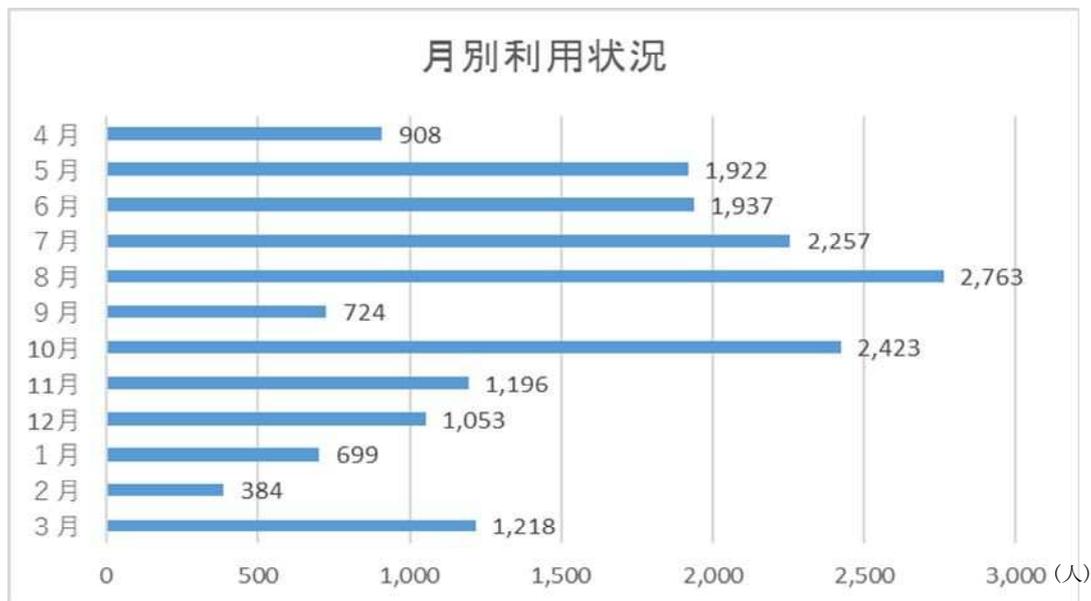
丸火でノルディックウォーキング

④ 利用状況

市内小学校5年生対象の「みどりの学校」をはじめ、市内外の小中学生、青少年団体、一般団体の利用があり、その数は延べ17,464人であった。

利用する学校団体は、市内中学校が6校とピーク時から半減し、宿泊利用が日帰り利用に変更となるケースが多かった。1団体当たりの利用者数も減少傾向にあり、昨年度と比較して延べ人数で531人減少した。

令和6年度 月別利用状況（少年自然の家）



(8) 文化財の保護

市内には、有形・無形の文化財が数多く残されている。文化財は、市の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、市民生活は文化財を始めとした歴史を基盤として成立している。

そこで、指定文化財を始めとする文化財を適切に保護・保存していくための「文化財保護管理事業」、祭礼や習俗等の民俗文化財や、地中に埋まっている埋蔵文化財等の調査を行う「文化財調査事業」、歴史講座や文化財紹介図書の発行により文化財を周知し、理解を深めることを目的とした「文化財啓発事業」を実施している。

① 文化財の保護管理

先人が守り伝えてきた貴重な文化財を市民共有の財産として維持管理し、後世に継承するため、市所有（管理）文化財の保護・活用事業を実施した。民間が所有する文化財に対しては、補助事業及び助言等を行い、適正な保護・活用を促した。

ア 文化財保護審議会の開催

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議した。

回	開催日・会場	審議・報告事項
1	令和6年6月11日（火） 富士市立博物館講座室	<ul style="list-style-type: none"> 市指定史跡「千人塚古墳」指定内容変更の諮問・答申について 市指定史跡「千人塚古墳」の現状変更について
2	令和7年1月30日（木） 富士市立博物館講座室	<ul style="list-style-type: none"> 市指定天然記念物「十王子神社のイチョウ」の現状変更について 市指定史跡「千人塚古墳」保存整備事業の進捗について 国登録有形文化財「旧順天堂田中歯科医院診療所兼主屋」の移築復原事業について 市指定天然記念物「浮島ヶ原のサワトラノオ群生地」について 「文化財保存活用地域計画」推進事業の進捗について
3	令和7年3月26日（水） 富士市立博物館講座室	<ul style="list-style-type: none"> 六所家旧蔵資料の指定に向けた方向性について 「浅間古墳保存活用計画」について 令和6年度事業報告について 令和7年度事業計画について

イ 文化財保存活用地域計画推進協議会の開催

富士市文化財保存活用地域計画における取組事業について説明・協議した。

回	開催日・会場	協議事項
1	令和6年7月11日（木） 市庁舎9階第2委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 令和4・5年度富士市文化財保存活用地域計画における取組事業の評価について 令和6年度富士市文化財保存活用地域計画における取組事業計画の内容について 計画の推進について
2	令和6年10月18日（金） 富士市立博物館講座室	<ul style="list-style-type: none"> フィールドワーク 関連文化財群「頼朝と曾我兄弟～源平合戦前後の富士地域～」について 来年度の事業計画について 令和6年度の取組事業の評価と今後の協議会について

庁内ワーキングの開催

取組事業を関係各課と連携して効果的に進めるため庁内ワーキンググループを組織し、協議した。

回	開催日・会場	内 容
1	令和6年5月16日(木) 消防防災庁舎4階第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 趣旨・経緯について 令和4・5年度取組事業の実績と評価及び令和6年度取組計画の確認について 今後の庁内ワーキンググループの開催について
2	令和6年9月4日(水) 市庁舎6階第1会議室	<ul style="list-style-type: none"> 関連文化財群「頼朝と曾我兄弟 ～源平合戦前後の富士地域～」についての趣旨説明 措置表及び映像資料による概要説明 具体的な取組事業について、ワークショップ形式での協議 各課との連携、文化財コンテンツの活用について
3	令和7年2月6日(木) 市庁舎5階第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> 「頼朝と曾我兄弟」の史跡活用イベントについて 千人塚古墳の活用について その他ディアナ号関連映像の制作について など

ウ 史跡保存整備推進委員会の開催

国指定史跡浅間古墳の保存活用計画、保存整備事業について協議し、助言を受けた。

回	開催日・会場	審議事項
1	令和6年7月22日(月) 市庁舎9階第2委員会室	<ul style="list-style-type: none"> 史跡浅間古墳保存活用計画作成に伴う令和5年度事業報告 史跡浅間古墳保存活用計画作成に伴う令和6年度事業報告・予定 史跡浅間古墳保存活用計画の目次案の変更について 史跡浅間古墳保存活用計画(後半部分)の基本方針について 史跡浅間古墳の発掘調査について
2	令和6年11月25日(月) 市庁舎8階第2会議室	<ul style="list-style-type: none"> 史跡浅間古墳保存活用計画(後半部分)の内容について 富士市指定史跡千人塚古墳保存整備事業の中間報告について 令和6年度須津古墳群出張展示事業 事業報告について
3	令和7年3月18日(火) 富士市立博物館講座室	<ul style="list-style-type: none"> 浅間古墳保存活用計画について

千人塚古墳部会の開催

千人塚古墳の発掘調査や整備について協議し、助言を受けた。

回	開催日・会場	審議事項
1	令和6年7月22日(月) 市指定史跡 千人塚古墳 (富士市神谷 846-4 外)	<ul style="list-style-type: none"> 千人塚古墳石室内発掘調査状況の視察 その他
2	令和7年3月18日(火) 市指定史跡 千人塚古墳 (富士市神谷 846-4 外)	<ul style="list-style-type: none"> 千人塚古墳の整備工事状況と供用開始までの流れについての確認

エ 指定文化財等の保護管理

- ・市指定史跡「千人塚古墳」の指定内容を変更した。
変更内容：名称—千人塚古墳（須津J—第10号墳）附須津J—第7・9・12号墳、員数、4基、所在地 富士市神谷字大塚824-2外
- ・民間所有の指定文化財（対象40件）に対して、所有者の維持管理と積極的な保存活用を促進するために文化財報償金を支出した。
- ・天然記念物薬剤散布作業（8カ所）を樹木の特性に合わせて、1～3回実施した。
- ・千人塚古墳他8カ所で除草・清掃作業を実施した。
- ・指定天然記念物等樹木の適正な管理を行うため、樹勢調査、報告書にまとめた（2件）。
- ・文化財看板を適正に維持管理するため、状態把握調査を実施した（95件）。
- ・市指定天然記念物不動穴を適切に管理するため、侵入防止柵の修繕を実施した。

オ 文化財補助事業

- ・重要文化財「古谿荘」の防災設備保守点検に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・重要文化財「古谿荘」の修理事業に対して、文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・無形民俗文化財の伝承活動のため、鵜無ヶ淵神明宮の御神楽保存事業等の事業実施団体に対して文化財保存事業費補助金を交付した。
- ・天然記念物保存のため、十王子神社のイチョウ及び横割八幡宮のクスノキの保存管理に対し文化財保存事業費補助金を交付した。



十王子神社のイチョウの木支障木剪定風景



横割八幡宮のクスノキの危険枝除去の風景

カ 千人塚古墳保存整備事業

基本設計（令和4年度作成）及び実施設計（令和5年度作成）を基に、保存整備工事を実施した。保存整備工事と並行して、平成14年度以後に石室内へ持ち込まれた土嚢や堆積した土砂の撤去、清掃と前回調査面までの発掘調査を実施し、工事前の石室壁体や床面の状況を記録した。

キ 重要文化財「古谿荘」の保護管理・整備事業

平成27年度に策定した保存活用計画を基に、令和3年度から10か年をかけて所有者が修理工事を行っている。第1期工事として、管理棟、板蔵の部分解体修理、耐震補強等を所有者が行った。本市は補助金の支出のほか月1回の工程会議等に参加し、修理事業の支援を行っている。

② 文化財愛護と普及

シンポジウムや出張展示・各種講座の開催や案内看板の作成・修繕等を通して、文化財を市民に周知するとともに文化財愛護意識の醸成を図った。

ア 文化財シンポジウム

浅間古墳を核とし、県東部地域の古墳を有機的に結びつけ、互いの価値を高め合うことを目的に近隣の関係市と共催でシンポジウムを開催した。

- ・テーマ 「浅間古墳を臨み 東征す 倭王権とスルガの王」
- ・日時 令和6年10月19日（土） 午前10時から午後4時
- ・会場 富士市交流プラザ
- ・内容 記念講演 青木 敬（國學院大學 教授）「墳丘からみた東駿河の前期古墳」
事例報告 各市学芸員による県東部地域の古墳の紹介
パネルディスカッション
- ・共催 富士市・沼津市・富士宮市・三島市・伊豆の国市各教育委員会
- ・参加者 200人

イ 須津古墳群出張展示事業

令和7年度に予定している市指定史跡千人塚古墳の供用開始に向け、令和6年度中に須津古墳群や周辺地域の古墳文化について市内外の方々に広く紹介する出張展示を3会場で実施した。

- ・テーマ 「須津こふんモバイルミュージアム スルガ古墳紀行」
- 【会場1】 富士川楽座
令和6年8月9日～9月8日 8,135人
ミュージアムトーク 参加者延べ149人
※沼津市教育委員会、富士宮市教育委員会、県埋蔵文化財センターと共催
- 【会場2】 富士市立博物館
令和6年9月14日～10月20日（休館日を除く）4,023人
※沼津市・富士宮市・三島市・伊豆の国市 各教育委員会と共催
- 【会場3】 須津まちづくりセンター
令和6年11月2日～12月1日 2,898人

ウ かぐや姫伝説出張常設展示設置

原田地区の地域コミュニティ施設としてリニューアルオープンした「交流センターはらだ」において、かぐや姫伝説に関する展示を制作・設置した。当施設は、かぐや姫が誕生したとされる「滝川神社」に隣接し、周辺の前田・吉永地区がかぐや姫伝説ゆかりの地であることから、リニューアルに伴い、かぐや姫伝説の概要や史跡等を紹介する常設の展示パネル等を掲示している。

- ・テーマ 「ここから富士山に帰る！かぐや姫の伝説」
- ・会場 交流センターはらだ（富士市原田 1310-1）
- ・展示開設 令和7年3月5日（水）～（リニューアルオープン行事開催日）
ミュージアムトーク 参加者約40人

エ 沼津市・富士市連携埋蔵文化財活用講演会

- ・テーマ 「カツオ、都へ行く！～古代の食をめぐる総合的な研究成果～」
- ・日時 令和7年3月8日（土） 午後1時から4時30分
- ・会場 沼津市立図書館4階視聴覚ホール
- ・基調講演 三舟隆之（東京医療保健大学）
- ・事例報告 山崎健（奈良文化財研究所）、森川実（奈良文化財研究所）、西念幸江（東京医療保健大学）
- ・コメント 仁藤敦史（国立歴史民俗博物館）

- ・ 討 論 司会：馬場基（奈良文化財研究所）、富士市・沼津市職員
- ・ 参 加 者 112 人

オ 市政いきいき講座

- ・ 講座名 「まちの魅力再発見！文化財講座」（講座No.27）
令和6年度実績 8講座 148人参加
- 「発掘！地元の古代遺跡～富士のふもとの考古学講座」（講座No.28）
令和6年度実績 6講座 225人参加

カ 文化財説明板

- 《修繕・追加》 3箇所
「大坂上古墳」、「不動穴」看板の内容修正
「吉原ブック型案内標識」に富士馬車鉄道説明板の追加

キ 第38回ふるさと芸能祭の開催

広く市民に郷土芸能について関心をもってもらい、伝統の継承が促されることを目的に、市内の芸能団体に出演してもらい、市民に郷土の芸能を披露した。

- ・ 日 時 令和7年2月16日（日） 午後1時から午後4時30分
- ・ 会 場 富士市文化会館（ロゼシアター） 中ホール
- ・ 入場者数 約400人
- ・ 出演団体 【富士市民俗芸能連絡協議会所属7団体】
雨乞い芸能保存会、国久保熊野太鼓保存会、天間太鼓保存会、大漁木やり唄中丸保存会、鮫島まとい太鼓保存会、小木の里太鼓保存会、東比奈諏訪神社大龍の舞保存会
【協力3団体】祭保存会氣組、若柳流柳園会、富士八木節同好会
- ・ 主 管 富士市民俗芸能連絡協議会

③ 埋蔵文化財の保護と発掘調査

文化財保護法に基づき埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の周知とその保存に努め、包蔵地内外で行われる土木工事に対して、試掘・確認調査や本発掘調査を実施した。また、発掘調査によって得られた資料は、整理・報告書作成事業を行い、記録保存の措置をとった。

ア 公共事業及び開発行為に伴う発掘調査

- ・ 令和6年度に実施した発掘調査は49件で、試掘・確認調査を47件、本発掘調査を2件実施した。
- ・ 南山大学上峯研究室の協力のもと、木島遺跡の範囲確認調査を実施するとともに、現地説明会を実施した。

【試掘・確認調査】

No.	遺跡名	調査面積 (㎡)	調査原因	調査期間	調査結果
1	三新田遺跡	2.997	不動産売買	4/23	なし
2	富士岡1古墳群	11.881	宅地造成	4/18	なし
3	東平遺跡	6.010	店舗建設	4/15～4/17	なし
4	東平遺跡	5.314	個人住宅建設	5/8～5/9	古墳時代 (土器)
5	神谷古墳群	36.760	個人住宅建設	5/16～6/4	古墳時代 (古墳、土器)

6	東平遺跡	18.904	不動産売買	6/12	なし
7	三日市廃寺跡	57.827	宅地分譲	6/4～6/6	古墳時代・奈良時代・平安時代 (竪穴建物・溝・ピット、土器・土製品)
8	神谷古墳群	8.211	公園整備	6/25～6/27	なし
9	新吉原宿遺跡	6.585	不動産売買	8/22	近世 (陶磁器)
10	天間沢遺跡	6.035	集合住宅建設	7/8～7/9	縄文時代 (ピット、土器)
11	神谷古墳群	21.7	公園整備	7/8～3/31	千人塚古墳・土器・金属製品
12	中桁・中ノ坪遺跡	6.037	個人住宅建設	9/25	平安時代 (土器)
13	天間沢遺跡	10.904	集合住宅建設	7/9	なし
14	比奈1古墳群	7.441	宅地造成	7/29	古墳時代以降 (ピット)
15	東平遺跡	7.191	個人住宅建設	8/23～8/26	なし
16	舟久保遺跡	5.810	宅地分譲	9/30	なし
17	柏原遺跡	7.212	個人住宅建設	8/20	奈良時代・平安時代 (土器)
18	舟久保遺跡	3.120	個人住宅建設	9/20	なし
19	沢東A遺跡隣接地	64.351	宅地分譲	9/4～9/6	なし
20	天間沢遺跡	4.357	建売個人住宅建設	9/3	縄文時代 (土器)
21	宮添遺跡	62.519	不動産売買	9/30～10/3	なし
22	木島遺跡	30.875	範囲確認	9/9～9/17	縄文時代 (土器・石器)
23	宇東川遺跡	52.270	宅地分譲	10/22	なし
24	天間沢遺跡	18.465	宅地分譲	10/7～ 10/11	縄文時代 (土器)
25	天間沢遺跡	4.135	個人住宅建設	9/26	縄文時代 (ピット)
26	天間沢遺跡	8.040	不動産売買	11/27	縄文時代 (炉跡、土器・石器)
27	国久保遺跡	6.260	個人住宅建設	10/11	なし
28	中島遺跡	3.075	不動産売買	10/21	なし
29	寺の上遺跡	5.598	個人住宅建設	11/14	なし
30	東平遺跡	6.131	個人住宅建設	10/10	なし
31	祢宜ノ前遺跡	72.722	宅地分譲	11/19～ 11/28	古墳時代 (古墳、土器)
32	清水岩の上遺跡	37.410	不動産売買	12/10	弥生時代 (ピット、土器・石器)
33	東平遺跡	9.257	不動産鑑定	11/28	なし
34	東平遺跡	10.830	個人住宅建設	11/28	なし
35	東平遺跡	49.618	不動産売買	12/25	奈良時代・平安時代 (土器・陶磁器)

36	三日市廃寺跡	3.633	不動産売買	1/14	なし
37	神谷古墳群	35.480	公園整備	12/19～ 12/23	なし
38	中桁・中ノ坪遺跡	22.111	不動産売買	1/7	奈良時代・平安時代 (竪穴建物・土坑、土器・金属 製品)
39	東平遺跡	18.281	個人住宅建設	2/13～2/18	奈良時代・平安時代 (竪穴建物・土坑・ピット、土 器・陶磁器)
40	清水岩の上遺跡	31.440	分譲地建設	1/21	弥生時代 (土器・石器)
41	三日市廃寺跡	12.449	個人住宅建設	2/28	奈良時代～中世 (竪穴建物、土器・瓦・陶磁器)
42	木の宮遺跡	62.494	店舗建設	1/27	なし
43	天間沢遺跡	88.770	土地利活用事業	2/14～2/21	縄文時代 (土坑、土器・石器)
44	外原遺跡	7.170	太陽光発電施設 設置	2/6～2/10	なし
45	岩倉B遺跡隣接地	86.638	土砂採取	3/6～3/14	なし
46	神谷古墳群	15.462	範囲確認	3/17～3/19	なし
47	天間沢遺跡	3.767	個人住宅建設	3/26	なし

【本発掘調査】

No.	遺跡名	調査 面積(m ²)	調査原因	調査期間	調査結果
1	川坂遺跡	49.303	個人住宅建設	5/20-5/24	旧河川からの遺物の流れ込み 古墳時代・奈良時代の土師器
2	比奈1古墳群	36.508	個人住宅建設	10/1-10/3	土坑など

イ 埋蔵文化財整理・報告書作成事業

発掘調査が終了した遺跡の出土資料や記録の保存・整理作業を実施し、以下の報告書を刊行した。

報告書名	調査原因	調査年度	概要
富士市内遺跡発掘調査報告書 —令和5年度—	確認調査ほか	令和5	令和5年度に実施した確認調査の調 査成果のほか、それ以前に実施した天 間沢遺跡の調査成果を所収
比奈1古墳群(石切平第2号墳)	配水池築造	令和5	令和5年度に実施し、銀象嵌装大刀な どの豊富な武器類が出土した横穴式 石室墳の本発掘調査成果を所収

指定文化財一覧 計 90 件(国指定8件 県指定 12 件 市指定 63 件 国登録7件) 令和7年3月31日現在

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
国指定	特別名勝	富士山		大淵ほか他市町村に及ぶ	特名 S27.11.22	
	史跡				史跡 H23.2.7	
	重要文化財	建造物	古谿荘 9棟	9棟	岩淵	H17.12.27
		彫刻	木造地藏菩薩坐像	1軀	松岡／瑞林寺	S57.6.5
		書跡	紙本墨書法門百首	1帖	平垣本町	S13.7.4
		工芸品	短刀 銘光包(名物乱光包)	1口	(寄託)(財)日本刀剣美術館	S8.7.25
絵画		金地著色春夏山水図 (伝雲谷等顔筆／六曲屏風)	1双	(寄託)静岡県立美術館	S25.8.29	
史跡	浅間古墳	1基	増川	S32.7.1		
県指定	建造物	旧稲垣家住宅 附棟札(文化元年) 2枚	1棟	広見公園	H21.3.23	
	工芸品	太刀 無銘(伝左弘安)	1口	天間	S37.2.27	
	考古資料	中原第4号墳出土遺物	一括	市立博物館	R3.12.27	
		東平第1号墳出土遺物一括	一括	市立博物館	R4.12.2	
	史跡	琴平古墳	1基	中里	S33.9.2	
		伊勢塚古墳	1基	伝法／玄龍寺	S33.9.2	
		庚申塚古墳	1基	東柏原新田	S34.4.14	
		岩淵の一里塚	1対	岩淵	S61.12.5	
	天然記念物	富知六所浅間神社の大クス	1本	浅間本町	S30.4.19	
		慶昌院のカヤ	1本	中里	S46.3.19	
		富士岡地藏堂のイチョウ	1本	富士岡	S46.3.19	
有形民俗文化財	浮島沼周辺の農耕生産用具	152点	市立歴史民俗資料館	H2.3.20		
市指定	建造物	五輪塔	2基	市立博物館	S44.8.19	
		ディアナ号の錨	1錨	三四軒屋区公会堂南側	H1.12.21	
		瑞林寺伽藍	3棟	松岡／瑞林寺	H4.12.25	
		旧松永家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1	
		樋代官植松家住宅長屋門	1棟	広見公園	H12.8.1	
		樋代官植松家住宅	1棟	広見公園	H12.8.1	
		原泉舎	1棟	広見公園	H12.8.1	
		眺峰館	1棟	広見公園	H12.8.1	
		杉浦医院	1棟	広見公園	H12.8.1	
		稲葉家住宅	1棟	岩淵	H22.5.19	
	彫刻	實相寺・木造仁王像(金剛力士像)	1対	岩本／實相寺	S47.8.1	
		實相寺・木造一切経蔵 七福神	1点	岩本／實相寺	S47.8.1	
		妙善寺観音堂俳句扁額	1面	原田／妙善寺	S49.9.1	
		木造広目天・多聞天立像	2軀	原田／妙善寺	S49.9.1	
		木造十一面千手観音坐像	1軀	原田／妙善寺	S55.9.1	
		木造薬師如来坐像	1軀	比奈／医王寺	S55.9.1	
	書籍・典籍・古文書	紙本墨書 稿本 田子のふるみち	1帖	(借用)市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 福寿山 瑞林禅寺記	1帖	松岡／瑞林寺	S59.12.24	
		紙本墨書 高林山 法田禅寺記	1卷	(寄託)市立博物館	S59.12.24	
		紙本墨書 今泉村往古高拔差邑寶鑑	1帖	市立博物館	S59.12.24	
		中村家文書	897点	(寄託)市立中央図書館	H8.3.19	
		實相寺一切経 宋版4巻、天海版6,174巻	合計6,178巻	岩本／實相寺	H21.4.21	
	歴史資料	大宝印秋山家資料	1,145点	市立博物館	R4.3.22	
考古資料		比奈東坂古墳出土品	一括	市立博物館	S44.8.19	
	医王寺経塚遺物	一括	比奈／医王寺	S59.12.24		

	種 別	名 称	員数	所在地	指定年月日	
市 指 定	史 跡	千人塚古墳（須津 J-第 10 号墳）附須津 J-第 7・9・12 号墳	4 基	神谷大塚 824-2	S51. 7. 23	
		稲荷塚古墳	1 基	船津	S51. 7. 23	
		実円寺西第 1 号墳	1 基	三ツ沢	S51. 7. 23	
		山ノ神古墳	1 基	東柏原新田	S51. 7. 23	
		金原明善翁ら大規模植林地		桑崎	S53. 9. 1	
		雁堤	1 箇所	岩本・松岡	S58. 6. 25	
		竹採塚	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		白隠禅師の墓	1 基	比奈／竹採公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの大勲策禅師の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
		善得寺墓群のなかの太原雪斎の墓	1 基	今泉／善得寺公園	H 1. 12. 21	
	天然記念物	船津浅間神社のクス	1 本	船津	S45. 12. 21	
		間門浅間神社のシイ	1 本	間門	S45. 12. 21	
		今宮浅間神社のスギ	1 本	今宮	S45. 12. 21	
		鵜無ヶ淵神明宮のクス	1 本	鵜無ヶ淵	S45. 12. 21	
		十王子神社のイチヨウ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		十王子神社のクス	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		水の上のタイサンボク	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		本国寺のボダイジュ	1 本	今泉	S45. 12. 21	
		曾我寺のカヤ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		曾我寺のシイ	1 本	久沢	S45. 12. 21	
		瑞林寺のモッコク	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		瑞林寺のヒイラギ	1 本	松岡	S45. 12. 21	
		医王寺のマキ	1 本	比奈	S49. 9. 1	
		一色のカヤ	1 本	一色	S49. 9. 1	
		八幡穴（溶岩洞穴）	1 箇所	久沢	S52. 10. 3	
		不動穴（溶岩洞穴）	1 箇所	大淵	S52. 10. 3	
		厚原風穴（溶岩洞穴）	1 箇所	厚原	S54. 3. 15	
		本照寺のカヤ	1 本	厚原	S56. 8. 1	
		白髭神社のヒイラギ	1 本	大淵次郎長町	S56. 8. 1	
		木之元神社のムクロジ	1 本	鈴川	S56. 8. 1	
		常盤家のイヌマキ	1 本	岩淵	H23. 12. 22	
		慈林寺のイヌマキ	1 本	中之郷	H23. 12. 22	
		横割八幡宮のクスノキ	1 本	横割	H24. 4. 23	
浮島ヶ原のサワトラノオ群生地	1 箇所	中里	H27. 4. 21			
無形民俗文化財	鵜無ヶ淵神明宮の御神楽		鵜無ヶ淵一丁目	H21. 4. 21		
	大北のカワカンジー		北松野	H23. 12. 22		
	木島のナゲダイマツ		木島	H23. 12. 22		
	岩淵島居講		岩淵	H29. 6. 21		
国 登 録	有形 文化財	建造物	旧小休本陣「常盤家住宅主屋」	1 棟	岩淵	H10. 9. 2
			旧岩淵火の見櫓	1 基	南松野	H18. 3. 27
			旧順天堂田中歯科医院診療所兼主屋	1 棟	吉原三丁目	H23. 7. 25
			旧加藤酒店店舗兼主屋	1 棟	本町	H27. 3. 26
			旧東泉院宝蔵	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			旧六所家門及び塀	1 棟	吉原公園内（今泉）	H29. 10. 27
			岳南電車本吉原駅プラットフォーム及びホーム上屋	1 式	岳南電車本吉原駅	R 3. 6. 24

(9) 博物館

① 施設の概要

ア 本館「富士山かぐや姫ミュージアム」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日
改修落成 平成 28 年 4 月 29 日
- 敷地面積 約 5,758 m²
(付属棟実習室、工芸室、陶芸棟敷地面積含む)
- 延床面積 本館 1,740 m²
付属棟 実習室 200 m²
工芸室 248 m²
陶芸棟 149 m²
- 本館施設・展示室 5・多目的室 1・収蔵庫 2・
講座室 1・ライブラリー・事務室・調査研究室・
空調機械室・機材庫他に防災・警備設備等



富士山かぐや姫ミュージアム
(富士市立博物館本館)

イ 分館「歴史民俗資料館」

- 開館 平成 6 年 11 月 16 日
- 敷地面積 1,665 m²
- 延床面積 歴史民俗資料館 657 m²
収蔵庫 209 m²
- 施設 1階 展示室・体験コーナー・
事務室・トイレ
2階 展示室・収蔵庫



富士市立歴史民俗資料館

ウ 分館「屋外展示（広見公園内）」

- 開館 昭和 56 年 4 月 25 日
- 敷地面積 約 39,688 m²
- 延床面積
 - ・樋代官長屋門 69.20 m² (旧植松家表門) 木造平屋建寄棟造茅葺
 - ・原泉舎 74.40 m² (今泉妙延寺土蔵・今泉小学校前身の仮教場) 木造切妻造瓦葺土蔵
 - ・旧松永家住宅 180.37 m² 木造平屋建寄棟造瓦葺、付表門 (薬医門)
 - ・眺峰館 59.01 m² 木造三階建八角尖塔造銅板葺 (洋風建築)
 - ・東平遺跡高床倉庫 18.17 m² 掘立柱高床板倉造切妻式流板葺
 - ・東平遺跡竪穴住居 23.50 m² 竪穴板壁入母屋式茅葺
 - ・横沢古墳 201.00 m² 大淵横沢で発掘調査した円墳
 - ・万葉歌碑 「東歌」『万葉集』巻 14 所収の東歌 1 首「天の原 富士の柴山木の暗の 時移りなば逢はずかもあらむ」
 - ・杉浦医院 138.60 m² 木造二階建寄棟造銅板葺 (洋風建築)
 - ・樋代官植松家住宅 195.00 m² 木造二階建越屋根付瓦葺
 - ・旧独楽荘石倉 33.00 m² 木造切妻造瓦葺石倉
 - ・旧稲垣家住宅 160.39 m² 木造入母屋形式かぶと造茅葺
- 〈その他〉小糸のぶ文学碑、松永末子歌碑、水城孝歌碑、根方街道道しるべ、東海道・大宮街道道しるべ、仁藤春耕道しるべ、一字一石経王塔、室伏半蔵道しるべ、日露友好の碑

エ 分館「富士川民俗資料館（稲葉家住宅）」

- 開館 昭和 47 年 3 月 改修落成 平成 30 年 3 月
- 敷地面積 380.86 m²
- 延床面積 稲葉家住宅 89.40 m²、収蔵庫 33.48 m²
- 構造ほか 木造入母屋造茅葺 市指定有形文化財 (平成 22 年)



市指定有形文化財(平成 22 年)
「富士川民俗資料館」



国登録有形文化財(平成 10 年)
「小休本陣常盤家住宅主屋」

オ 博物館管理施設「小休本陣常盤家住宅主屋」

- 公 開 平成 16 年 3 月
- 延床面積 249.13 m²
- 構造ほか 木造平屋切妻造棧瓦葺 国登録有形文化財(平成 10 年)

カ 博物館外部収蔵庫

- 竣 工 平成 27 年 3 月
- 延床面積 428.72 m²
- 構 造 鉄骨造平屋建

② 展示

ア 常設展示

○展示室 1 テーマ「富士に生きる」

富士山南麓の地に生活してきた先人たちの歴史や文化を「富士に生きる」という大きなコンセプトのもと7つのジャンルで紹介

- ①富士の舞台＝富士火山・海岸平野のできるまで
- ②富士の黎明＝富士市を代表する天間沢遺跡のジオラマ、旧石器時代から律令時代の市内遺跡出土資料
- ③動乱から泰平の世へ＝鎌倉から室町に至る動乱の時代の資料
- ④街道と宿場のにぎわい＝東海道・吉原宿の変遷
- ⑤水とのたたかい＝富士川治水に功を成した雁堤や浮島沼干拓の歴史
- ⑥富士川舟運と渡船＝富士川と岩淵河岸の歴史
- ⑦富士の災害＝富士火山や水害、地震被害の歴史とロシア軍艦ディアナ号の遭難

○展示室 2 テーマ「富士山の玉手箱」

富士山をモチーフとした名品の数々。「富士山を描く」、「富士山をかたどる」、「富士山を記す」等、富士山にまつわる6つのテーマを展示

○展示室 3 テーマ「富士山とかぐや姫」

富士山南麓を舞台としたかぐや姫の伝承に焦点をあて、信仰の山・富士の姿を地域に根ざした視点から紐解く。

- ①竹取物語へのいざない
- ②富士山のかぐや姫
- ③かぐや姫と富士山縁起＝記された富士山のかぐや姫物語（卷子本富士山大縁起）
- ④東泉院と下方五社＝六所家総合調査より（日吉浅間神社並神主六所良邑境内絵図）
- ⑤富士のかぐや姫物語ゆかりの地を歩く＝描かれた富士山のかぐや姫物語
- ⑥富士山の女神
- ⑦富士山登山絵図＝描かれた富士山の信仰空間（富士山禪定図）
- ⑧村山修験の活動＝秋山家寄託資料 密教法具の展示
- ⑨岩淵鳥居講

○展示室 4 テーマ「竹取物語の広がり」

日本各地の竹取物語ゆかりの地や関連グッズの紹介
静岡県世界遺産センターとの連携による富士山世界文化遺産の紹介

イ 特別展示（展示室5・多目的室6）

常設展示以外の特別展、企画展、共催展、テーマ展等の展示会を随時開催している。

展示室5（特別展示室）は気密性の高い特殊な展示ケースを採用。貴重な資料を展示している。

○ライブラリー〈1階〉

県内外の博物館の出版物や富士山に関わる専門書・児童書を揃えている。

図書館にはあまり見られない本を閲覧することができる。また、パソコンにて、館藏品や貴重な映像資料を検索・閲覧できるデジタルライブラリーが併設されている。

ウ 歴史民俗資料館 テーマ「富士に生きる」

○1階 展示室

富士市域は、駿河湾の海岸から富士川・潤井川等の河川によるなだらかな扇状地と東部の低湿地、富士山・愛鷹山へと続く斜面の間に広がる。

海岸の漁村から最北の山村までの標高差 800mの間、それぞれの地に適した暮らしを営んだ人びとの姿を以下の6つのテーマに分けて紹介している。

- ①ハマの暮らし（田子浦・元吉原沿岸）＝実物のシラス船や大漁旗、延縄漁用具等
- ②ドブツタのある暮らし（浮島ヶ原周辺）＝ドブツタ（湿田）での田植えのジオラマ等
- ③豊作への願い（浮島ヶ原周辺～加島平野）＝豊作を願う様々な行事
- ④タバシヨの暮らし（加島平野）＝タバシヨ（田場所）の田植え用具、スキ等
- ⑤ヤマガの暮らし（富士・愛鷹山麓）＝つるべ井戸のジオラマ、木樵、畑作用具等
- ⑥行き来する人々（地域の交流）＝シヨイコ（背追子）や梶、秤等人や物の行き来に使う諸道具

○2階 展示室

富士山南麓の豊富な森林資源や水を利用して発達してきた紙のまち・富士の歴史や学校教育、子どもの遊びや紙のおもちゃ等を展示している。また、近代の戦争と戦時中の暮らしについての展示も見る事ができる。

「紙のまち」というフィルターを通して、富士市の近代と未来の姿を考える。

- ①手すき和紙＝和紙づくりの道具、原料等
- ②近代製紙の幕開け＝原田製紙1号機模型、佐野熊ナプキン、富士製紙会社関連資料等
- ③紙のまちへのあゆみ＝県製紙工業試験場資料、マードック賞受賞のメダル等
- ④子どもの遊びと学び＝穆清尋常高等小学校棟札、学習掛図（複製）等
- ⑤戦争と暮らし＝軍服、青い目の人形メリー（写真展示）等の戦時資料



戦争と暮らし

③ 事業（令和6年度）

ア 企画展等

- ①春のテーマ展「伝えていくもの～博物館のNew Face～」
- ②夏のテーマ展「千年を写す～文学にみる富士の景色」
- ③富士・沼津・三島三市博物館巡回展「石器と暮らし～愛鷹・箱根西麓の旧石器文化とその周辺～」
- ④第61回企画展「将軍綱吉の時代と富士」
- ⑤春のテーマ展「浮世絵版画の世界」
- ⑥富士山の玉手箱特集展示「武田弘氏寄贈富士山コレクション 富士山テレカの世界」
- ⑦富士山の玉手箱特集展示「富士山古写真展」
- ⑧富士山の玉手箱特集展示「富士山登山絵図～登拝から観光登山へ～」
- ⑨富士山の玉手箱特集展示「富士山の古跡をめぐる」
- ⑩富士山の玉手箱特集展示「武田弘氏寄贈富士山コレクション 扇子に描かれた富士山」

イ 講座・体験学習等

博物館陶芸室や染色室、実習室、旧稲垣家住宅等を会場に、各種講座・体験学習を行い、先人の知恵や技術を知り、生活体験に触れる機会を設けた。

富士山ネットワーク推進委員会の事業では、第22回目となる「富士山ぐるりんコンテスト」を実施した。

ウ 六所家総合調査

令和2年度末に刊行した一般向け概説書「富士山東泉院の歴史」をもって近世までの調査については一定の成果をみたが、令和4年度から引き続き近代資料の調査を実施した。

エ 富士市立博物館ボランティアの活動

令和6年度末で活動18年目となる。令和6年度は、富士博ボランティア養成講座を実施し、11名が参加、9名が新規登録となり、現在の登録メンバーは35名となった。主な活動として、博物館主催事業や体験学習での指導・補助、館収蔵資料の整理、展示補助等、多岐に渡る博物館業務で活動している。

④ 出版物（平成24年度以降）

年度	出版物名	種別、判型等
平成24	第51回企画展『富士市にまつわる物語絵』 『六所家総合調査報告書 民俗』	企画展解説書 A4 35P 報告書 A4 112P
平成25	第52回企画展『縄文の美～土器の文様と飾り～』 富士山世界文化遺産登録記念特別展『鳥の目で見た富士～鳥瞰図の世界～』 『六所家総合調査報告書 古文書①』	企画展解説書 A4 16P 特別展解説書 A4 30P 報告書 A4 184P
平成26	春のテーマ展『富士山×絵葉書 平川コレクションに見る富士の姿』 第53回企画展『富士山の下に灰を雨らす 富士の噴火と古墳時代後期の幕開け』 『六所家総合調査報告書 書画』 『六所家総合調査報告書 聖教』	展示会解説書 A4 23P 企画展解説書 A4 49P 報告書 A4 120P 報告書 A4 450P
平成27	『六所家総合調査報告書 古文書②』 リニューアルオープン記念展『富士のある風景』	報告書 A4 520P 企画展解説書 変形 35P
平成28	第54回企画展『東洋美術史の父 大村西崖』 六所家総合調査だより特別号①「護持院隆光と東泉院精海」	企画展解説書 A4 60P 調査だより A4 32P
平成29	リニューアルオープン1周年記念展『富士登山列伝 頂に挑むということ』 『富士山かぐや姫ミュージアム 常設展示総合ガイドブック』 第55回企画展『産業の種蒔く人―伝法中原4号墳と古代のエンジニアたち』 『六所家総合調査報告書 古文書③』 六所家総合調査だより特別号②「東泉院の神道資料」	記念展解説書 A5 32P 概説書 A5 変形 92P 企画展解説書 A5 20P 報告書 A4 520P 調査だより A4 37P
平成30	富士山世界遺産登録5周年記念展『かぐや姫の里と白隠さん』 第56回企画展『富士が見守る交流の道―古代東海道と富士山ジャンクション―』	記念展解説書 A4 24P 企画展解説書 A5 変形 40P
令和元	第57回企画展『東海の軍を発す―伝法 東平1号墳とヒミツの武器』	企画展解説書 A5 変形 30P
令和2	六所家総合調査「富士山東泉院の歴史」	概説書 A4 140P
令和3	第58回企画展『トイレの紙さま～おしりふきふき いまむかし～』	企画展解説書 A5 変形 29P
令和4	第59回企画展『河東をめぐる戦国時代』	企画展解説書 A4 20P
令和5	第60回企画展『東海道にかけた富士の橋』	企画展解説書 A4 40P
令和6	第61回企画展『将軍綱吉の時代と富士』	企画展解説書 A4 40P

⑤ 利用状況（令和6年度）

ア 博物館施設利用状況

年間開館日数	301日
年間利用者数	60,075人
一日平均利用者数	200人
利用者累計(昭和56年度～)	2,031,111人



第61回企画展「将軍綱吉の時代と富士」

イ 令和6年度 事業別利用者数

(7) 自主展観事業

事業名	開催期間	人数(入館者数)
春のテーマ展「伝えていくもの～博物館の New Face～」	3月23日～5月19日	8,618人
夏のテーマ展「千年を写す～文学にみる富士の景色～」	6月1日～8月25日	9,175人
富士・沼津・三島三市博物館巡回展「石器と暮らし～愛鷹箱根西麓の旧石器文化とその周辺～」	9月7日～10月20日	4,312人
第61回企画展「将軍綱吉の時代と富士」	11月2日～1月19日	6,600人
春のテーマ展「浮世絵版画の世界」	2月1日～4月13日	8,358人

(イ) 各種講座等教育普及活動

講座・教室名	開催日	回数	人数
古代人の暮らし -古代の知恵に学ぶ-	7月27日、11月30日、2月8日	3回	96人
たんけん!はくぶつかん!	7月24日	1回	192人
戦時中の食事	8月6日	1回	20人
お月見お供え団子作り	9月15日	1回	14人
富士の型染体験	10月5日	1回	14人
かまど飯を食べよう!!	6月16日、11月9日	2回	38人
富士川の歴史と文化	11月24日	1回	40人
かまどでご飯と差し茅交流会	11月10日	1回	10人
オリジナルだるま作り	2月2日	1回	15人
お彼岸の牡丹餅作り	3月15日	1回	13人

(ウ) その他の事業

イベント名	開催日	人数
博物館の日(手すきハガキづくり、火おこし体験、博物館クイズ 他)	5月、7月、9月、11月、3月の日曜日に実施	920人
かやぶき農家の工芸まつり	5月11日～6月2日の週末、博物館利用団体の作品展示、販売・体験を実施	1,538人

かやぶき農家の癒しのおんがく会	4月、5月、9月、10月、11月の日曜日に実施	434人
-----------------	-------------------------	------

(I) 幼稚園・保育園・小中学校等との連携による体験学習への支援
小・中学校

支援内容	施設数	延回数・延人数・点数	
見学対応	25校	30回	1,788人
紙すき体験	1校	1回	76人
縄文土器作り等古代体験（火おこし体験、勾玉含む）	9校	9回	399人
むかしの暮らし体験（かまど体験等）	9校	9回	627人
資料貸出（火おこしセット、日常生活用品等）	9校	9回	60点
出前講座・講演会等	4校	4回	200人

幼稚園・保育園

支援内容	施設数	延回数・延人数	
見学対応	2園	2回	107人
古代体験（土玉ペンダント）	1園	1回	17人
資料貸出	1園	1回	1点

高等学校・大学

支援内容	施設数	延回数・延人数	
見学対応	3校	3回	21人
古代体験（出土資料の整理・調査）	1校	1回	15人

その他施設

支援内容	施設数	延回数・延人数	
見学対応	11か所	13回	241人
紙すき体験	4か所	4回	99人
むかしの暮らし体験（かまど体験等）	1か所	1回	35人
出前講座・講演会等	4か所	4回	60人

⑥ 資料・図書収集状況（令和6年度末現在）

収蔵資料総合計数 ※視聴覚資料の数には委託制作ビデオを含む。

	館所蔵				寄託	借用	合計
	寄贈	購入	収集	移管			
民俗	14,112	89	0	2,091	86	17	16,395
美術工芸	5,978	1,033	0	96	68	15	7,190
歴史	24,031	621	0	1,481	1,173	6	27,312
考古	3,211	3	0	4,214	2	711	8,141
紙関係	1,882	394	0	61	1	22	2,360
自然	25	0	0	98	1	0	124
視聴覚	337	106	204	11	0	0	658
その他	8,061	1	0	0	142	0	8,204
合計	57,637	2,247	204	8,052	1,473	771	70,384

※六所家関係資料、山崎家関係資料、森家関係資料は、整理中のため未計上

※武田氏関係資料（富士山コレクション）は、寄贈分類「その他」で受入れ、今後整理作業を進め、正式な分類に振り分ける予定

(10) 教育文化スポーツ奨励賞

教育、文化及びスポーツの振興に寄与する市民等の活動を奨励するため、教育、文化及びスポーツの振興に優れた業績をあげているもので、将来一層の発展が望まれる市内の個人又は団体を表彰する。

令和6年度受賞者

◆小澤 緑（教育・自然科学）

自然科学の分野において教育の振興に貢献している。浮島ヶ原自然公園では、来園者のガイドを務めながら、市指定天然記念物の「浮島ヶ原のサワトラノオ群生地」の保全活動に励むなど、環境保全と環境教育に関し、献身的な活動を継続している。今後も活躍が大いに期待される。

◆芦澤 正人（文化・美術）

造形作家として活躍している。自身の創作活動だけにとどまらず、ワークショップなどを通じて、子どもたちを中心に描くことや造ることの楽しさを伝えている。また、文化振興財団理事等の要職を務め、文化芸術の普及に尽力している。今後も活躍が大いに期待される。

◆富士市三曲協会（文化・邦楽）

長年、文化芸術の振興に貢献している。市総合文化祭への出演のほか、定期演奏会の開催や各所での演奏を通じて、日本伝統の音楽である箏・三絃・尺八の普及に努めるとともに、高校の部活動での指導など、次世代への継承に尽力している。今度も活躍が大いに期待される。

◆富士朗読の会（文化・朗読）

長年、文化芸術の振興に貢献している。市総合文化祭への出演のほか、保育園や老人保健施設等での読み聞かせボランティアを行い、様々な世代への朗読の普及に努めている。また、会員の技術向上のため、定期的に勉強会・朗読会を実施している。今後も活躍が大いに期待される。

◆富士市柔道会（スポーツ・柔道）

発足から57年間にわたり、柔道教室や選手権大会の開催を通じて、柔道の普及と礼儀を重んじる人材育成に尽力している。また、市柔道会として多くの試合に出場し、全国大会での上位入賞など数々の実績を残しており、本市柔道の振興に寄与している。今後も活躍が大いに期待される。